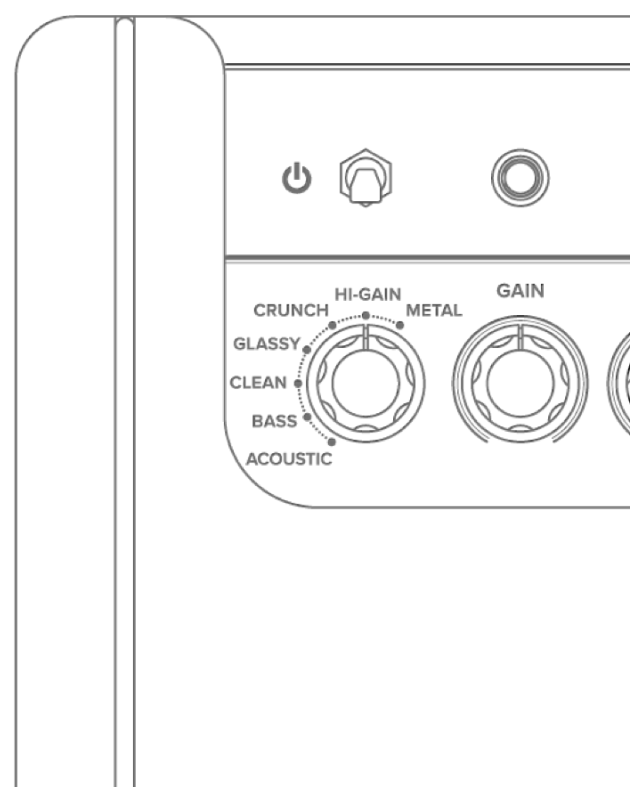


Spark Amp

ユーザーマニュアル



目次

- 02 製品仕様
- 03 ハードウェアコントロール(上部)
- 04 ハードウェアコントロール(背面)
- 04 Bluetooth スピーカー
- 05 USB レコーディング
- 05 出荷時設定へのリセット
- 07 アプリケーション接続
- 08 App 経由のトーン調整
- 09 オート・コード
- 10 スマートジャム
- 11 ボイス・コントロール
- 12 アプリケーションユーティリティ
- 13 お問い合わせ先

製品仕様

オーディオ仕様

周波数範囲
20-20000 Hz

STEREO/MONO
ステレオ

最大音圧レベル
116dB SPL@1m

キャビネット
バスレフ

パワーアンプ
40ワット クラスD 増幅器

スピーカー
2-4" カスタム・スピーカー

インピーダンス
4 オーム

電源

対応電圧
100-240V

電源周波数
50/60Hz

同梱品

BOX の内容

Spark Amp
電源アダプタ
USB ケーブル
クイックスタートガイド
フリー版 Studio One Prime

ソフトウェア

モバイル APP  
Spark App for iOS および Android

コントロールと接続

コントロールパネル (上部)
Amp Type
Gain、Bass、Mid、Treble、Master、Mod、Delay、Reverb
Output Volume
Output Volume
Music Volume
4つのプログラマブル・プリセットボタン
Tap/Tuner ボタン

オンボードエフェクト
30 アンプモデル
40 エフェクト
(ノイズゲート、コンプレッサー、ディストーション、モジュレーション、ディレイ、リバーブ)

有線接続端子
1/4" Guitar Input
1/8" Aux Input
1/8" ヘッドフォン

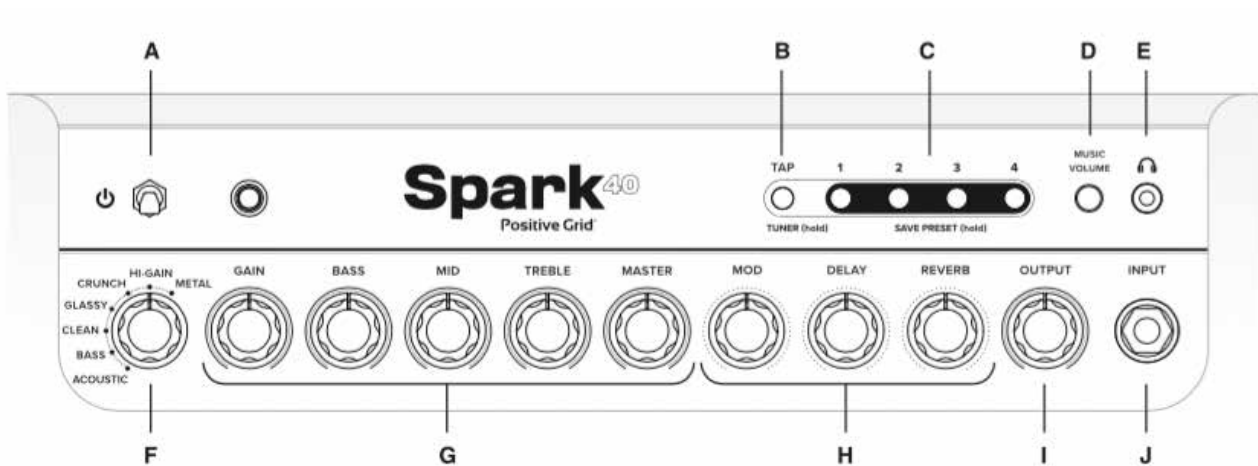
ワイヤレス接続
Bluetooth オーディオ

USB オーディオ
2 入力 x2 出力の USB インターフェイス

本体

サイズ
350x180x190mm
(13.78x7.08x7.48 インチ)
重量
5.2 kg
11.46 lb
カバー
黒のテクスチャ付きビニール
グリルクロス
カスタムブラック / ブラウン
ハンドル
取り外し可能な革ハンドル

トップ・コントロールパネル



(A) 電源スイッチ

(B) タップ / チューナー

ボタンを長押しすると、TUNER モードになります。
TUNER モード時は、TAP と 4 の Preset LED がピッチ音程を表示します。
もう一度長押しすると、TUNER モードを終了します。
TUNER モードをオンにすると、ギター信号はミュートされます。
ディレイエフェクトのテンポは、スイッチを 2 回以上タップすることで設定できます。

(C) プリセットスイッチ

いずれかをタップして、Spark Amp に保存されている 4 つのプリセットを選択します。
プリセットが変更されると赤色の LED が点滅します。
スイッチをもう一度長押しすると、プリセットが上書きされます。

(D) Bluetooth オーディオ、AUX 入力、または USB オーディオ再生から音量を調整します。

(E) ヘッドフォンポート

このポートにケーブルを挿入すると、メインスピーカーのサウンドがミュートになります。

(F) アンプタイプ

現在のプリセットのアンプモデルを変更します。
このスイッチで選択できないアンプモデルにアクセスするには、Spark アプリを使用します。

(G) アンプコントロール

現在のプリセットのアンプモデルのゲイン、EQ、およびボリュームをコントロールします。

(H) エフェクトコントロール

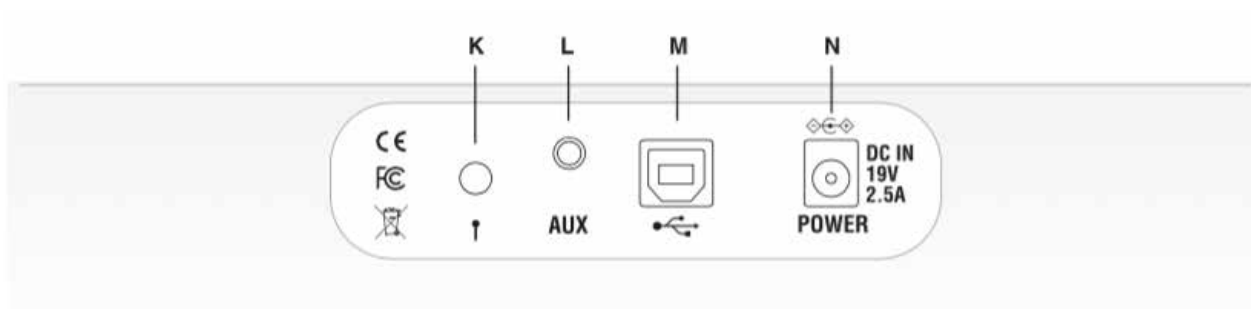
現在のプリセットのモジュレーション、ディレイ、およびリバーブの量を調節します。
Spark アプリを使用して、エフェクトタイプとエフェクトの詳細設定を変更できます。

(I) OUTPUT

ギター全体の音量を調節します。

(J) ギター input

リアパネル



(K)Bluetooth ステータスインジケータ

- Bluetooth オーディオ接続のステータスを示します：
 - 接続済み (青色のライト)
 - 接続待ち (点滅) ・ 無効 (LED オフ)

(L)AUX In

オーディオデバイスのアナログ出力をこのポートに接続します。

このポートにコネクタを挿入すると、USB オーディオ再生と Bluetooth オーディオは無効になります。

(M)USB ポート

付属の USB ケーブルを使用して、コンピューターと Spark Amp を接続すると、USB レコーディングまたはファームウェアアップデートなどが行えます。

(N)DC In

付属の電源アダプタを接続します。

指定以外の AC アダプタは使用しないでください。

他の AC アダプタを使用すると誤動作の原因となります。

ワイヤレススピーカーとしての Spark Amp の使用

- デバイスの Bluetooth 機能をオンにして、使用可能なオプションのリストから「Spark40Audio」を選択します。
- Spark Amp は、オンにすると、以前に接続したデバイスと自動的にペアリングされます。
また、他のデバイスとペアリングすることもできます (以前に接続したデバイスが使用できない場合など)。
- ペアリング情報をリセットするには、プリセットボタン 4 を 3 秒間押しながら Spark Amp をオンにします。
ペアリングをやり直す前に、Bluetooth 設定で認識されているデバイスから Spark Amp を削除してください。

Spark Amp を USB オーディオインターフェイスとして使用する

- 付属の USB ケーブルでコンピュータと接続し、録音 / 再生機器として「Spark USB Audio」を使用します。
- デフォルトでは、ギター信号は Amp/FX モデリング後に録音されます。
ドライギター信号を録音するには、Spark アプリを使用してすべての Amp/FX モジュールをバイパスします。
- USB の再生音量は、「MUSIC VOLUME」ノブでコントロールします。
- 録音時、DAW ソフトウェアでインプット・モニタリングが有効になっている場合は、DAW ソフトウェア (MUSIC VOLUME ノブでコントロール) とアンプ自体 (OUTPUT ノブでコントロール) でギター信号をモニタリングできません。
- ASIO サポート用の Windows ドライバーは、Spark ヘルプセンターにあります。

ファクトリーリセット方法

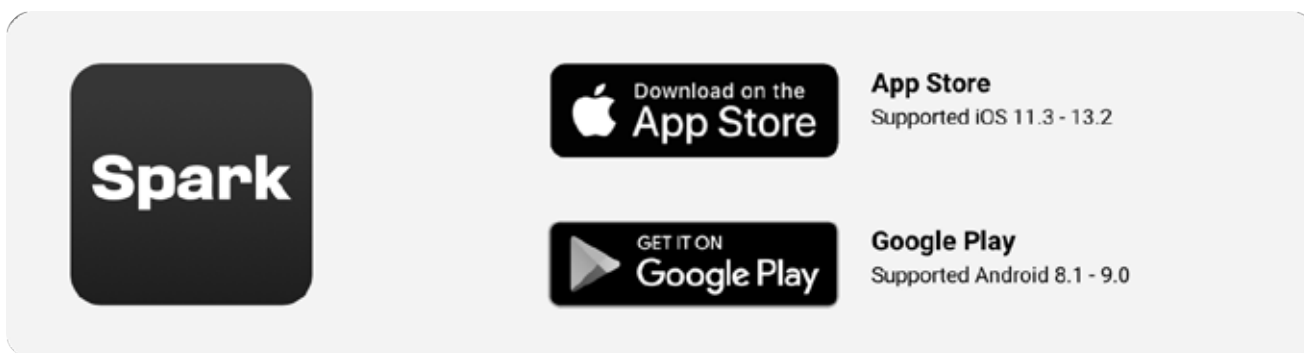
- 本体の電源を切ります。
- TAP ボタンを押したまま Spark Amp の電源を入れ、TAP ボタンが点滅を始めたら放します。
- 点滅している 4 つの LED(1~4) がすべて 1 回点滅するまで再度 TAP ボタンを長押しし、TAP ボタンを放します。
- 4 つの LED がすべて点滅したらすぐに TAP ボタンを放してください。
- TAP ボタンを押すと、出荷時設定へのリセットがキャンセルされます。
- TAP ボタンが点滅し、CH1 LED が点灯している場合は、工場出荷時リセット処理が完了した状態です。
- 以上の方法で、Spark Amp に保存されている 4 つのプリセットすべてと、その Bluetooth ペアリング情報がリセットされます。
ペアリングをやり直す前に、デバイスの Bluetooth 設定で認識されている Spark Amp を削除してください。

Spark App

ユーザーガイド

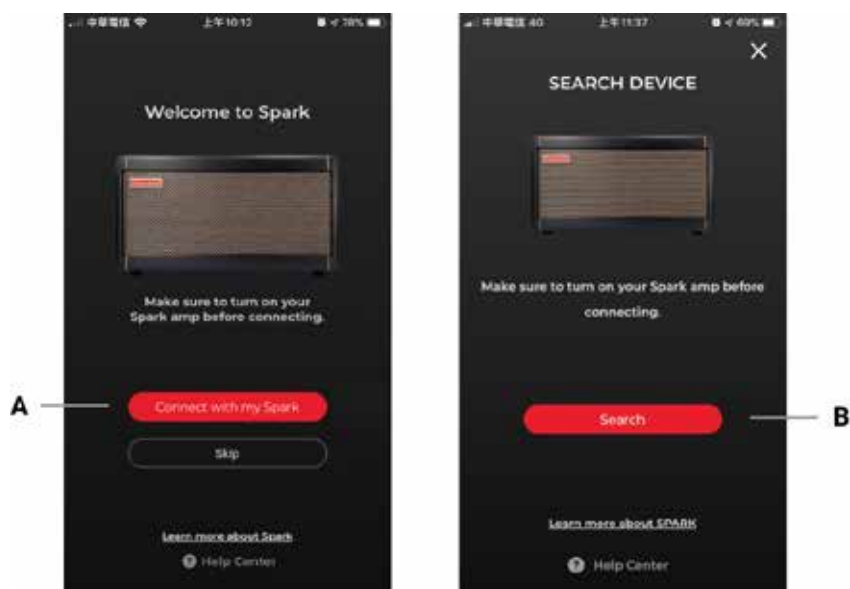
Spark

Spark APP のダウンロード



スマートフォンと互換性のある Spark アプリをダウンロード、インストールします。

Spark Amp をスマートフォンに接続



(A) [Connect with my Spark] ボタンをタップします。

(B) 「Search」 ボタンをタップします。

• Spark アプリが自動的に Spark Amp を検索するため、スマートフォンの Bluetooth 機能がオンになっていることを確認してください。

ヒント :Spark Amp を Bluetooth スピーカーとしてスマートフォンに接続し、音楽を再生します。
オーディオ出力には、アンプとアプリを安定して接続する必要があります。

Positive Grid アカウントへのログイン

Positive Grid アカウントにログインして、ToneCloud からさらにトーンをダウンロードできます。



(A)[ToneCloud] ボタンをタップします。

ヒント :ToneCloud とは

<https://help.positivegrid.com/hc/en-us/articles/207958256-What-is-ToneCloud->

エフェクトの使用

Spark Amp を Spark App に接続した後、ノブを微調整すると、リアルタイムでエフェクトが変化します。



(A) シグナルチェーン：

1. 左右にスワイプすると、他のエフェクトを使用できます。
2. 上下にスワイプすると、エフェクトのオン/オフが行えます。
3. エフェクトアイコンをダブルタップすると別のエフェクトに変更できます。

(B) エフェクトセクション：

1. エフェクトのオン/オフ：赤いライトをタップするとエフェクトのオン/オフが切り替わります。
2. トーンコントロール：ノブを動かしてトーンを調整します。

(C) oneCloud: 右上のアイコンをタップして ToneCloud を開きます。

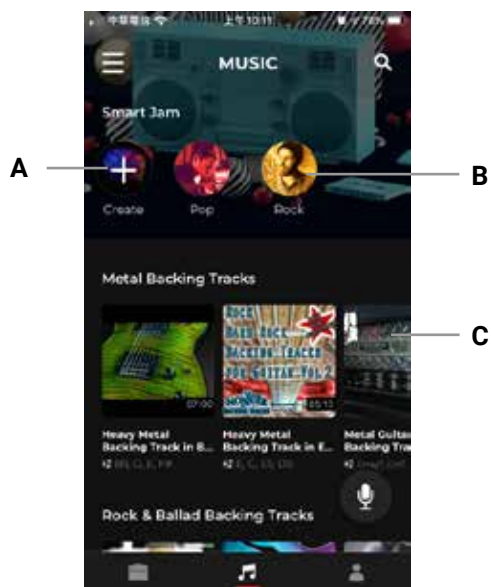
(D) その他：

1. Overwrite: 現在のプリセットを上書き保存します。
2. Save as New: 新規プリセットとして保存します。
3. Share to Tone Cloud — ToneCloud でプリセットを共有します。
4. Save to Hardware — Spark Amp 本体のプリセットスロットに現在のプリセットを保存します。

(E) Preset — プリセット名をタップして、他のプリセットを選択します。

Smart Jam の使用

Spark Amp とアプリは、1つのユニットとして機能し、スタイルとフィールを学習して、それに合わせてリアルなドラムとベーストラックを生成します。



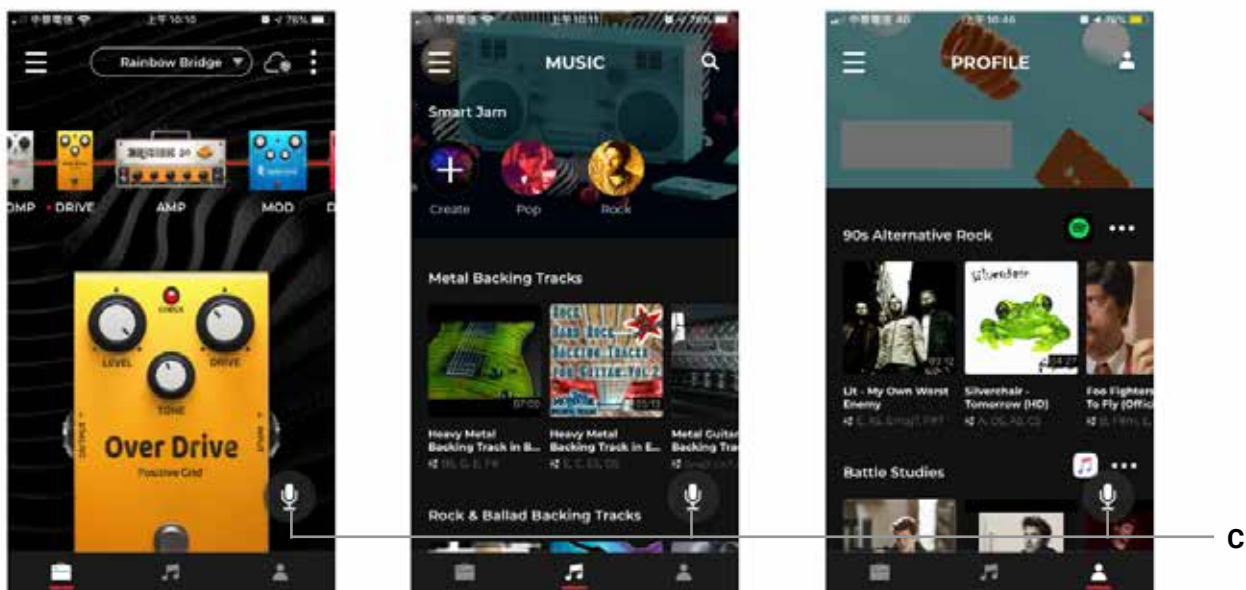
(A) Spark アプリで新しいバックングトラックを作成します。

(B) 指定した音楽ジャンルのオリジナルのバックングトラックを作成します。

(C) 人気の高いバックングトラックをロードします。

ヒント：コードは、スマートフォンデバイスのマイクから検出されます。
Spark が信号を検出できない場合は、より静かな部屋で再生してみてください。

音声コマンドの使用



(A) ミュージックアシスタント

1. マイクアイコンをタップします。
2. スマートフォンでは、以下の音声コマンドを使用します。
また、画面上のクイックコマンドをタップすることもできます。
 1. Play drums — Smart Jam と同様です。
 2. Play a backing track — カスタムバックイングトラックを再生します。
 3. Metronome — 内蔵メトロノームを開きます。
 4. Tuner — 内蔵チューナーを起動します。

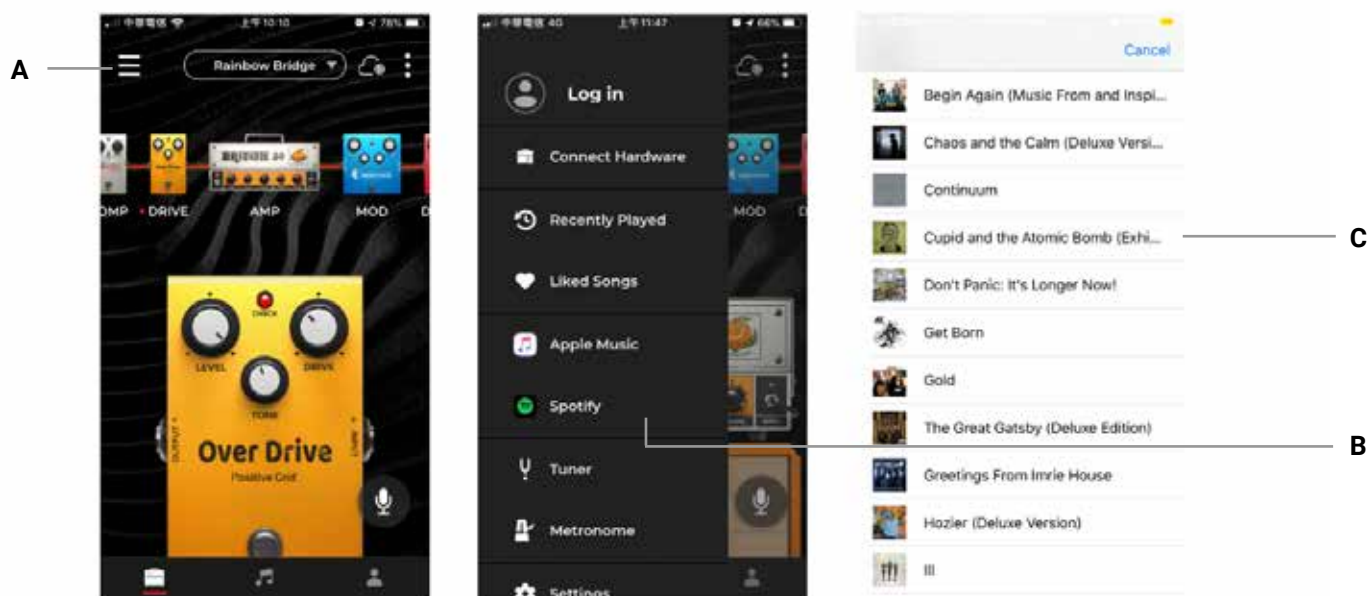
音声コマンド言語のサポート

1. 英語
2. 日本語

ヒント：「音声コマンド」機能には、上記4つのクイックコマンドがあります。

オートコードの使用

任意の曲を選択すると、演奏中に Spark がそのコードをリアルタイムで自動的に表示します。
コントロールを行うと、曲のテンポを遅くしたり、難しいセクションをループさせたりすることが簡単にできます。



(A) 左上のメニューボタンをタップします。

(B) 「Apple Music」または「Spotify」から読み込む曲を選択します。

(C) 「Apple Music」または「Spotify」リストから目的のアルバムを選択します。

ヒント :Spark が Spotify または Apple Music アプリにアクセスできることを確認してください。

US へのお問い合わせ

ユーザーズマニュアル、FAQ、またはサポートチームへのお問い合わせについては、オンラインヘルプセンターにアクセスしてください。

ヘルプセンター :<https://help.positivegrid.com/>